



京都発

廃校を活用した アート・コレクティブ拠点



同志社大学野田ゼミB班

奥村沙耶、喜多嶋一博、北本健人、田中絵莉香、寺井乃々香、
中尾純、升川桃菜、山田菜穂子

学生

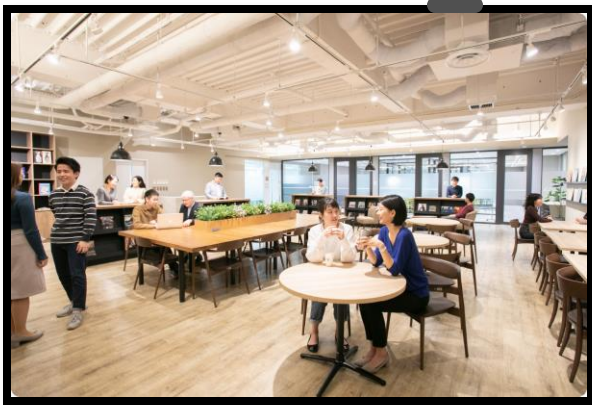


作品展示



廃校

交流
スペース



共同制作



音楽専
攻



絵画専
攻



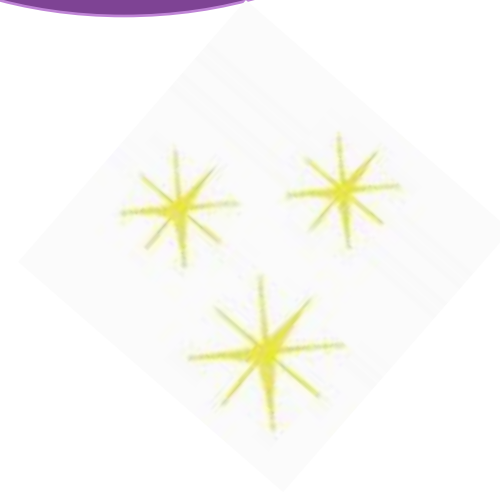
舞台芸術
専攻



グラフィッ
クデザイン
専攻



新たな文化



政策概要

既存施設の有効活用による高コストパフォーマンス

京都が優位性を持つ「芸術」に着目

新たな文化創出機関

目次

1.なぜ廃校なのか

2.なぜ芸術文化なのか

3.廃校と芸術の結びつき

4.まとめ

5.展望

1.なぜ廃校なのか

172億円の赤字

- 公債償還基金が枯渇
- 将来負担比率は政令指定都市でワースト1位

赤字

1 7 2 億円

負担は
将来世代へ

新設する
余裕が無い

既存施設の有効活用が優先

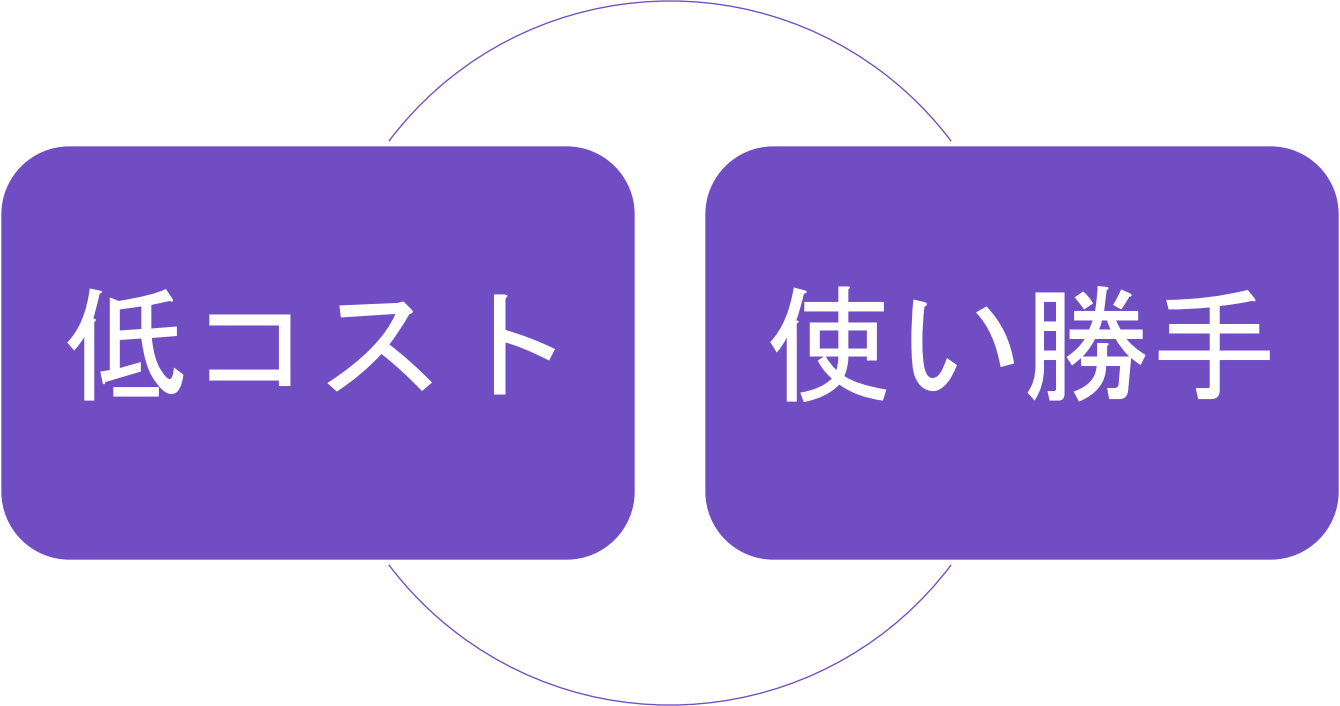
京都市の廃校の実態



未使用率
75%

現在使われていない旧新洞小学校

廃校活用することのメリット



低コスト

使い勝手

2.なぜ芸術なのか

西陣織



インテリア向けテキスタイルとして利用される西陣織

尾形光琳



風神雷神図



燕子花図

上野リチ



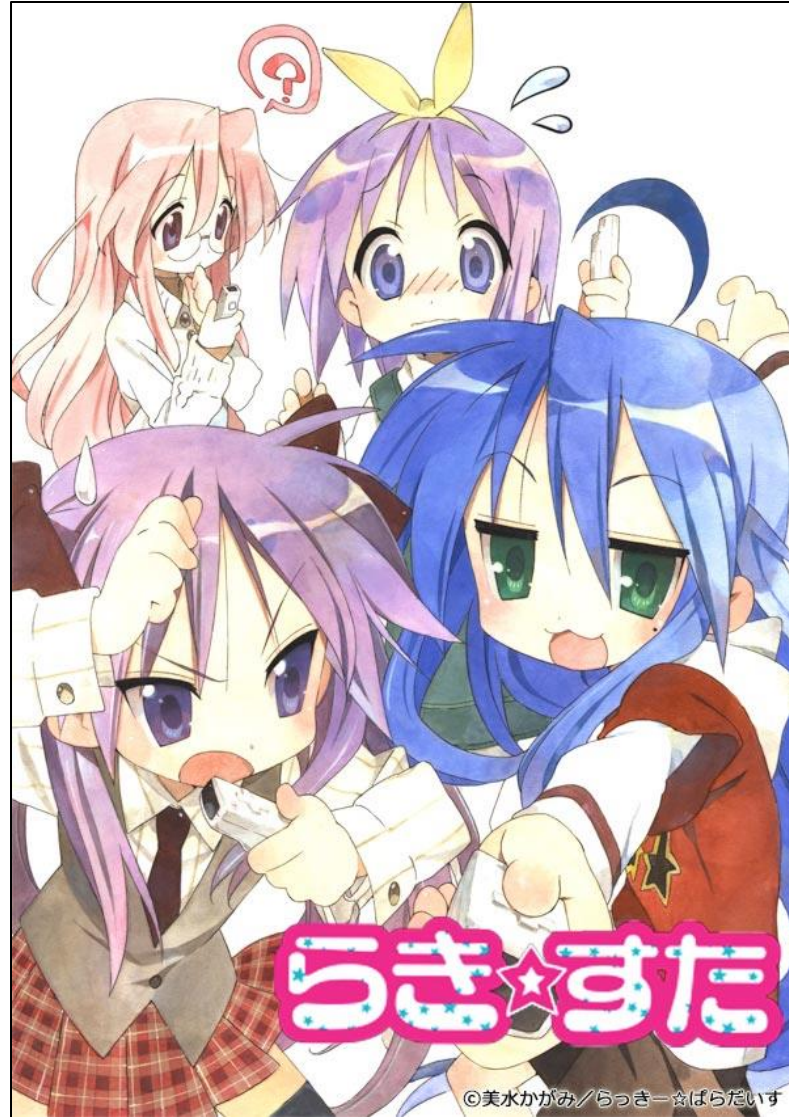
佐渡裕



中村かほ



京都アニメーション



京都市に多く存在する芸術大学



京都市芸大



嵯峨芸術大学



同志社女子大学



京都芸大
(旧京都造形大)

しかし専門家によると

京都=芸術とい
うイメージの
希薄化

京都市芸大のプ
レゼンス低下



石津さんとのzoom

3.廃校と芸術の結びつき

廃校と芸術の結びつき

(1)

網羅的
廃校活用方法
類型化

(2)

ニーズ調査

(1) 網羅的な廃校活用方法の類型化

廃校活用方法の調査

- 日経テレコンの記事検索
- Web検索
- 先行研究や国の成功事例集



142 校の類型化

廃校活用の実例

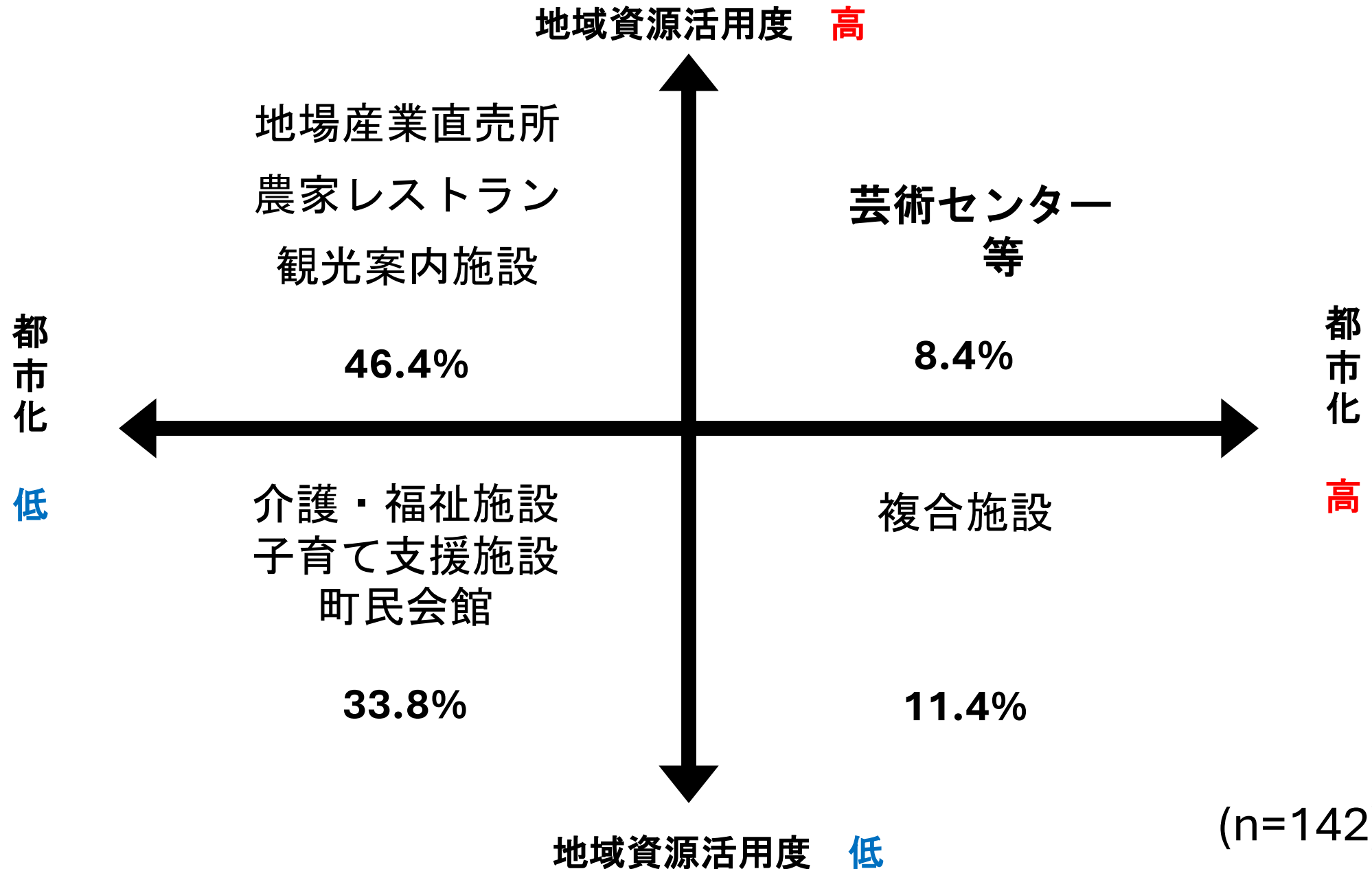


図 1



←
のじまスコーラ

都市化
低

都市化
高

図 1

(n = 142)

地域資源活用度 低

地域資源活用度 高

← ←
絵本と木の美術館

都市化
低

都市化
高



地域資源活用度 低

(n=142)

図 1

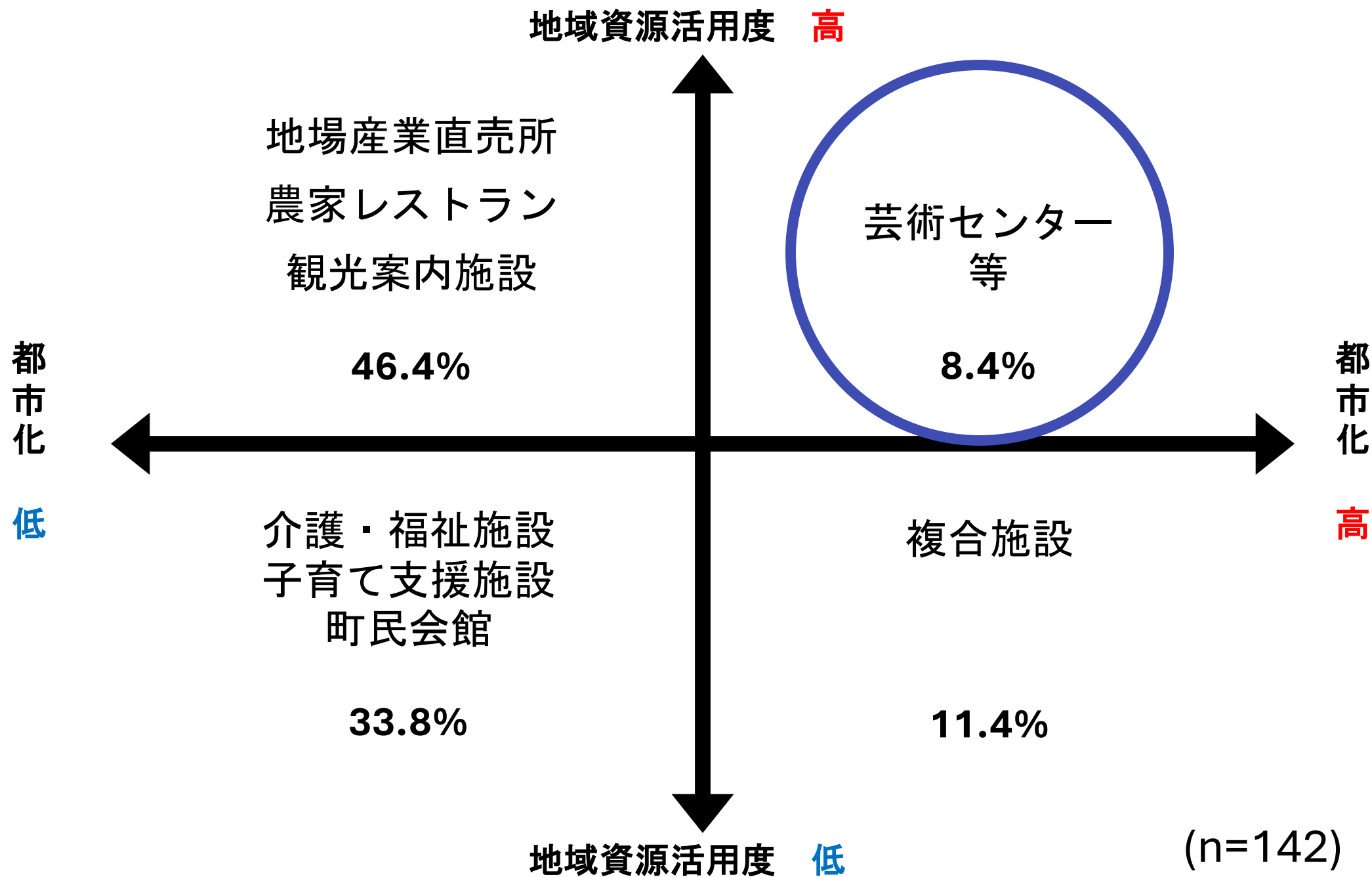


図 1

その土地の地域資源を活用すべき！

他都市と差別化



京都でその地域資源にあたるのが...

ずばり、

芸術資源！

(2) ニーズ調査

① プレ調査

② 本調査

③ 若手アーティストミーティング

(2) ニーズ調査

① プレ調査

芸大生が何の困っていて、何を求めているのかの知る

② 本調査

③ 若手アーティストミーティング

(2) ニーズ調査

① プレ調査

② 本調査

③ 若手アーティストミーティング

実際に京都市芸大、嵯峨野美術大学、京都芸術大学に足を運び、学生64名に街頭インタビュー

(2) ニーズ調査

① プレ調査

② 本調査

③ 若手アーティストミーティング

本調査の際積極的な
発言をいただいた人により具体的な
意見を聞く

① プレ調査



音楽科の学生

- ・ 練習場所の不足
- ・ 練習室の取り合い



プロダクトデザイン学科の学生

- ・ 作品を発表する場の機会の要求



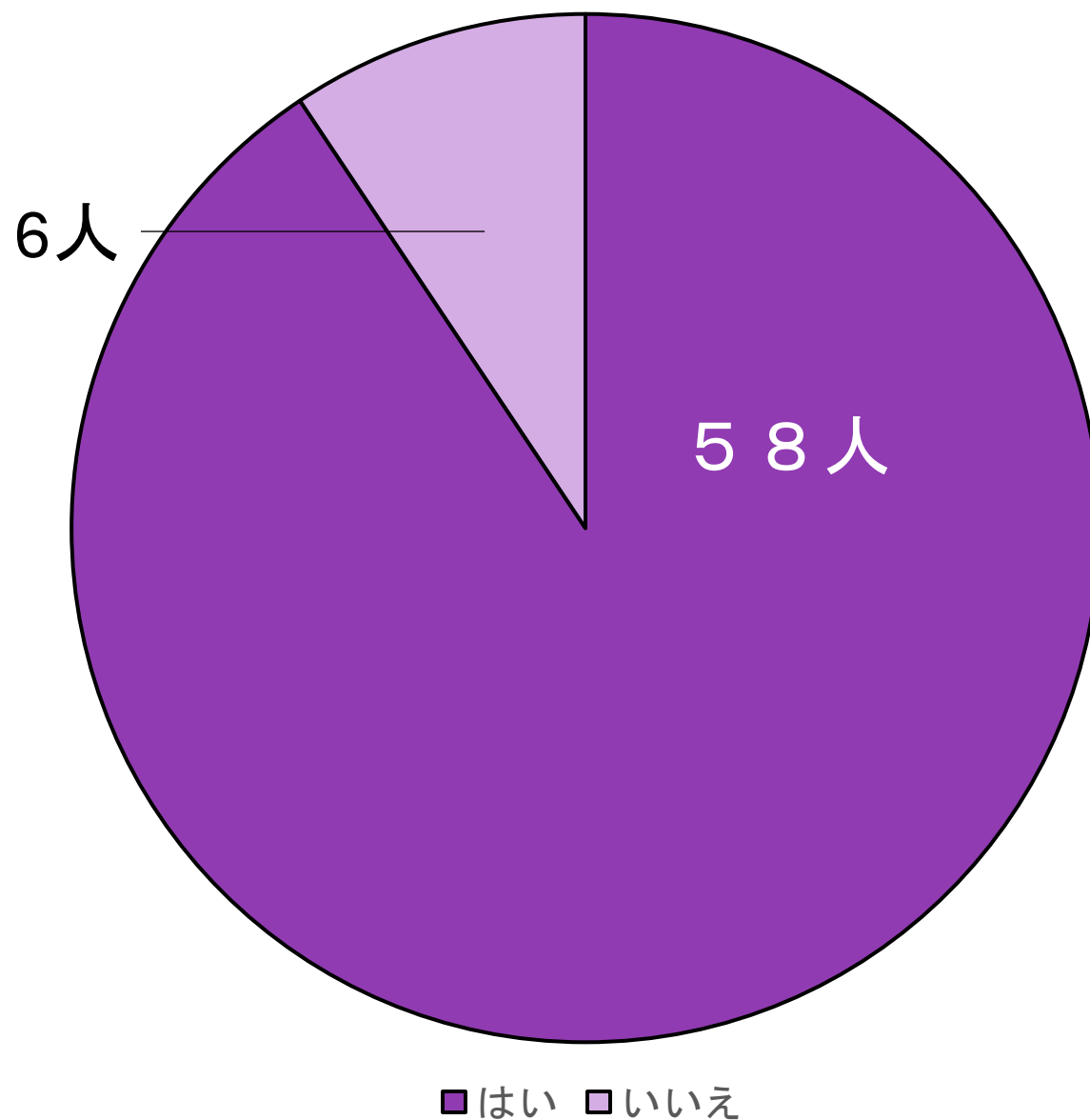
②本調査（n=64）

展示場所ニーズ

現状、他分野の芸大生との交流の有無

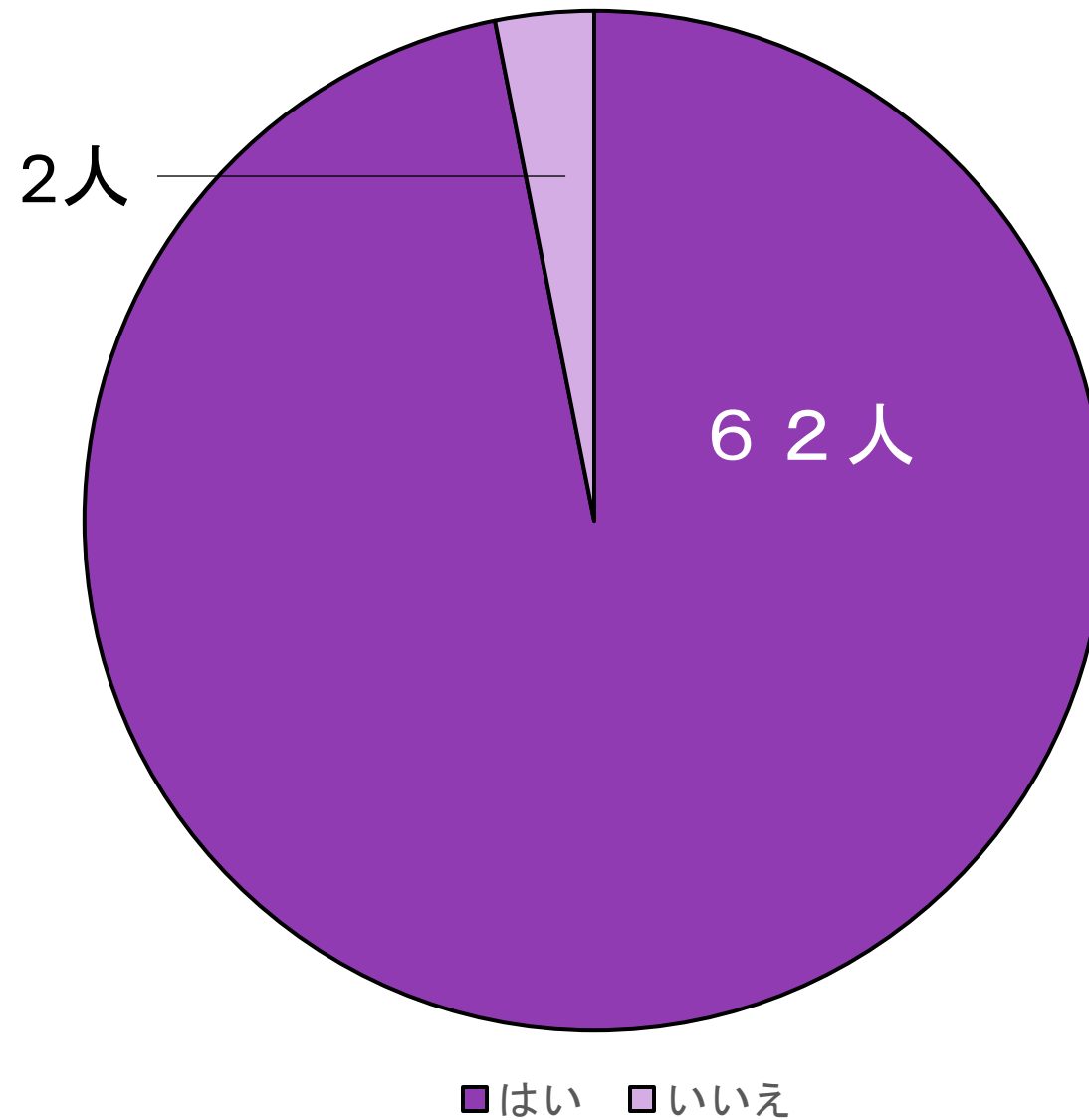
他分野との交流ニーズ

学外に対して自分の作品を発表したいか



(n=64)

他分野の学生と交流を持ちたいか

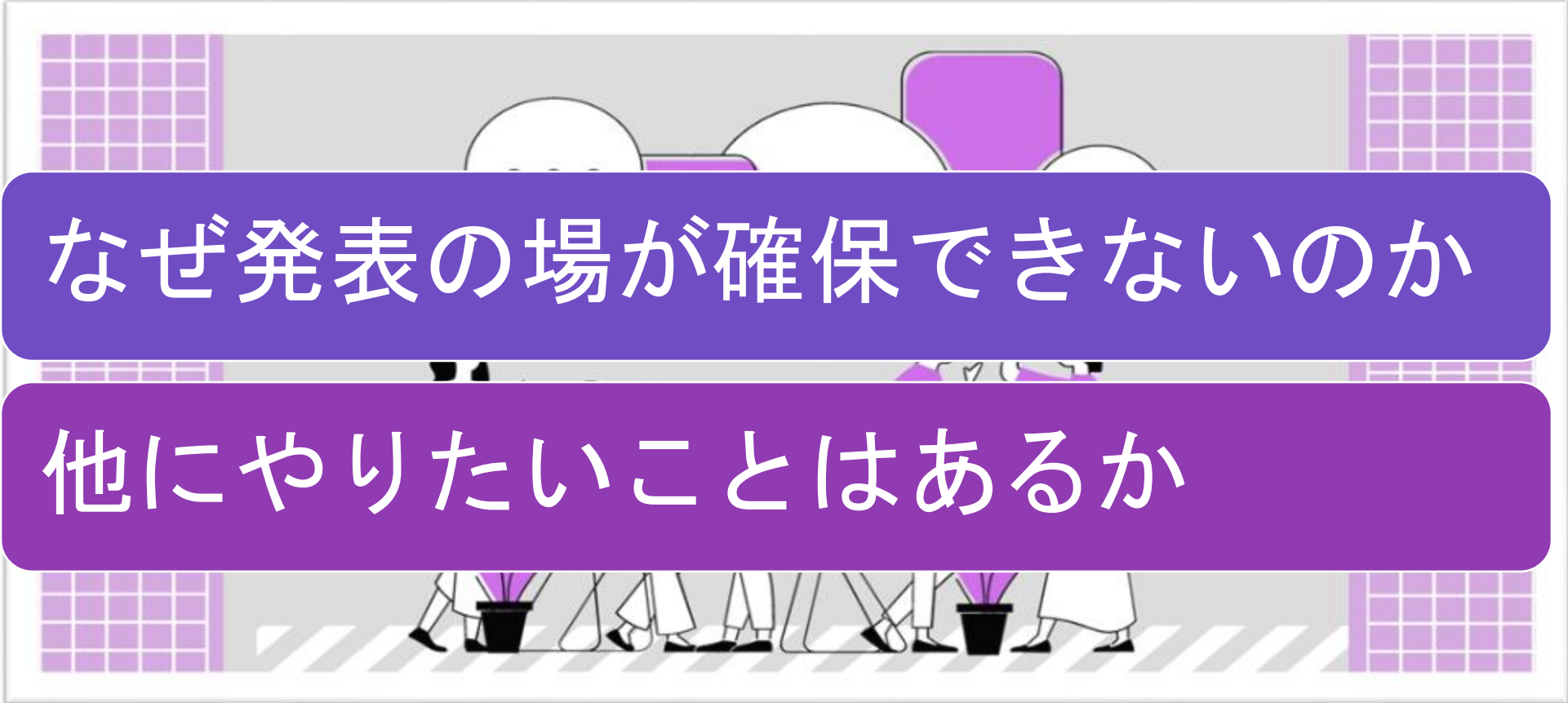


(n=64)

③若手アーティストミーティング



③若手アーティストミーティング



なぜ発表の場が確保できないのか

他にやりたいことはあるか

③若手アーティストミーティング（発表編）

発表の場は学内

学外での発表は高コスト

場所の確保が困難

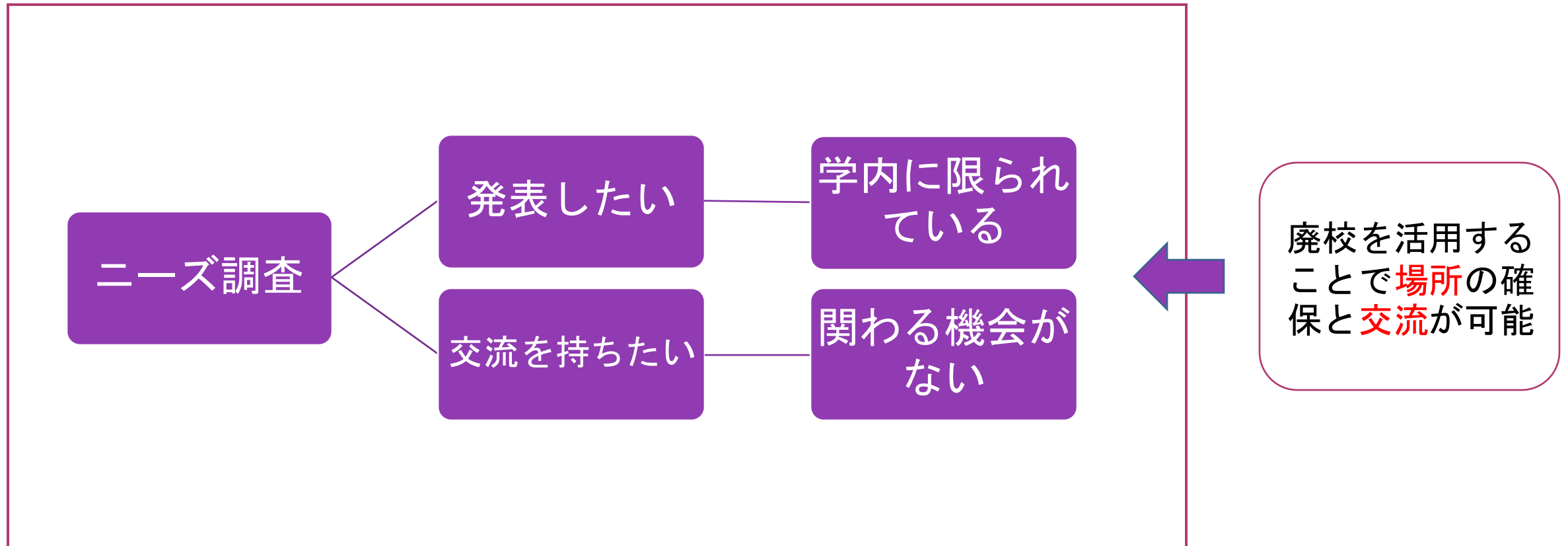
③若手アーティストミーティング（交流編）

他の分野の学生と関わる機会がない

共同制作スペースのニーズ

非日常空間での作業願望

ニーズ調査まとめ



政策の実現可能性

◎京都市学校跡地活用推進担当課

「ふれあい共生館」（旧楽只小学校を再利用）
公募制・アーティストがアトリエとして利用
→学生が自由に使える施設ではない



実現可能性が高い

4. 結論

京都発アートコレクティブ拠点

目的に応じた使い分け

体育館

音楽室

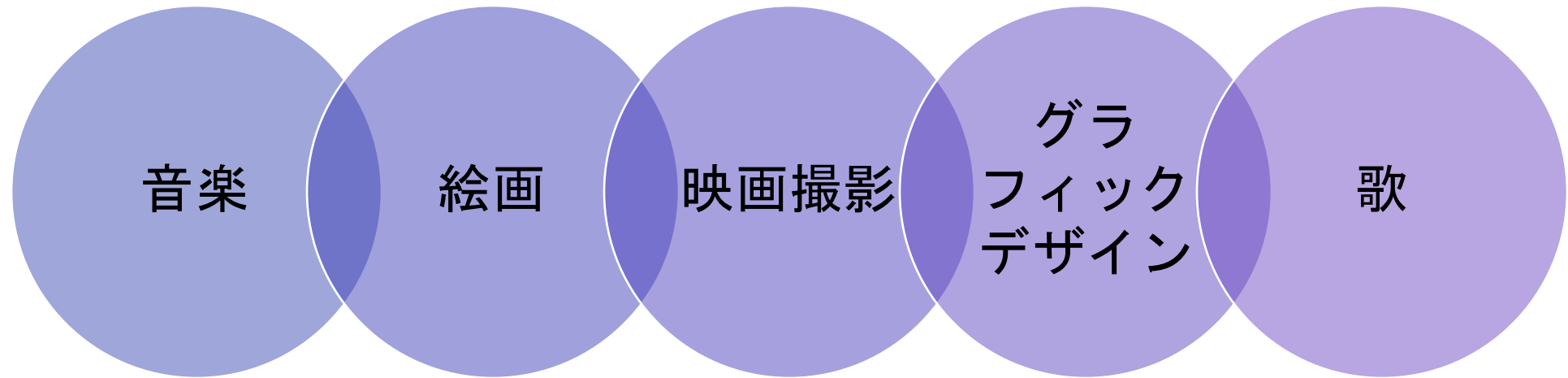
図工室

視聴覚室

教室

個々のアート空間から協働アート空間になり
新たな文化創出空間となる

リエゾン（協働・協同）



リエゾン（協働・協同）

京都発最先端若者アートの発表

音楽

デザイン

歌

5.展望

政策の具体的な展望

ヒト

モノ

カネ

モノ



聚楽小学校



ヒト

進路未定の芸大卒業生

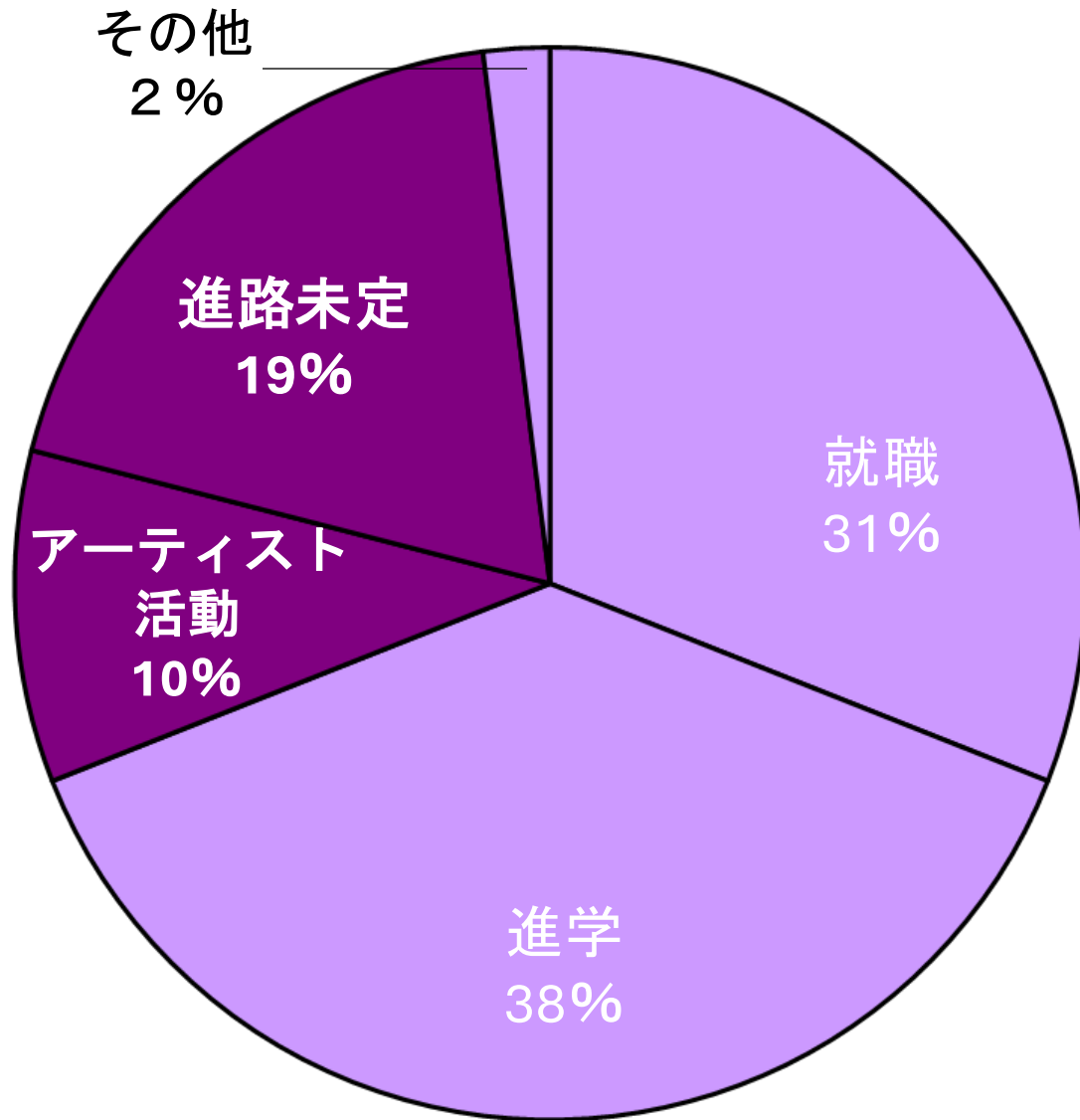
就職せずに
アーティストを目指す
芸大卒業生

- ・働く場の提供
- ・専門知識を持った職員の確保

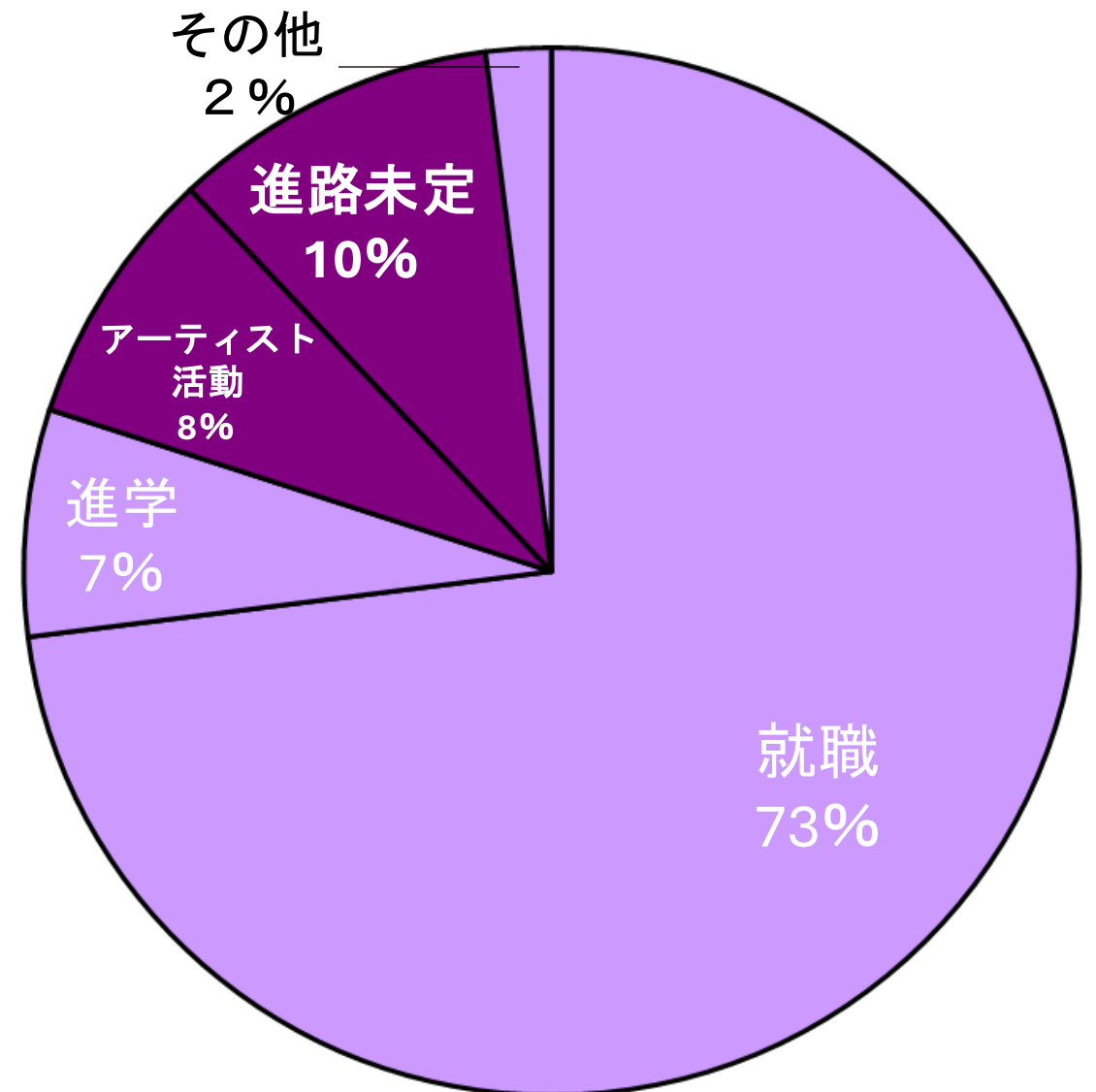


更なるリエゾン機能

京都市芸大



京都芸術大 (旧京都造形芸術大)



ヒト

進路未定の芸大卒業生

就職せずに
アーティストを目指す
芸大卒業生

- 働く場の提供
- 専門知識を持った職員の確保



更なるリエゾン機能

力ネ

指定管理者制度

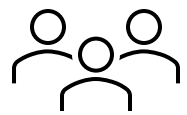


NPO

年間600万円

業務委託





カネ

市の職員



600万円捻出

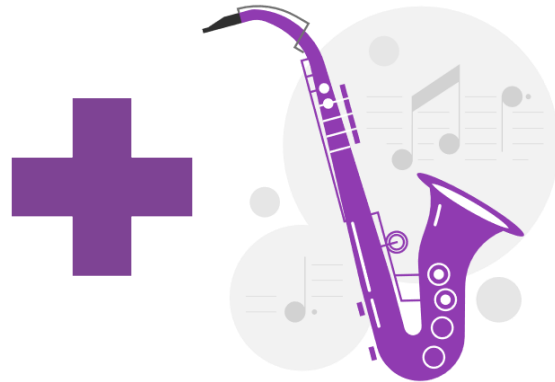
仕事効率化



総まとめ

既存施設（廃校）

京都が誇る芸術文化



新しい
文化・価値



総まとめ

既存施設（廃校）活用

都市間競争の中で
勝ち抜いていくための
有益な政策提案

新しい
価値・価値

ご清聴ありがとうございました